

平成29年度CJKプロジェクト・バングラデシュ派遣 派遣員募集要項

平成24年11月にバングラデシュで開催された第24回アジア太平洋地域スカウト会議において、平成26年2月から5カ年計画でCJK（台湾・日本・韓国）3カ国連盟のローバースカウトによるプロジェクトを、現地バングラデシュのローバースカウトと共に行うことが決められた。

参加者は台湾・日本・韓国・バングラデシュ各連盟のローバーと友情を促進し、イスラームと南アジアの異文化を体験するとともに、保健衛生、環境保全、母子栄養摂取、国際理解、国際協力そしてスカウト運動への一層の理解を深めることができる。

名 称 平成29年度CJKプロジェクト・バングラデシュ派遣

期 間 平成30年2月19日（月）～2月28日（水） 10日間（予定）

場 所 バングラデシュ人民共和国 クアカタ

人 員 ローバースカウト10人・指導者1人 合計11人を標準編制とする
（状況により多少の変更がある）

経 費 （1）参加者負担金は1人あたり約25万円を見込む（前回参考）
これは、往復航空運賃約12万円、現地滞在費・プロジェクト経費約5万円、準備訓練・事後集経費約1万5千円、国内旅行手配および海外旅行傷害保険約2万円、査証手配・手配諸経費・支給品代金約3万円、消耗品等派遣団装備約1万5千円に、日本連盟予算を加えた見込み金額である。最終的な参加者負担金は、派遣人員と往復航空運賃が確定する11月頃に決められる。
（2）上記予算は、派遣期間中の小遣い等は含まない。
（3）本派遣は、日本連盟海外派遣貸付金（30万円以内・無利子・5年以内返済）対象事業である。派遣員内定者は必要に応じて申請することができる。貸付金は審査のうえ決定される。

日 程 （予定—今後のバングラデシュ連盟との調整により期間が前後することがある）
平成30年2月17日（土）東京都内に集合し1泊2日間の準備訓練を行う
2月18日（日）準備訓練終了後、結団式を行う。羽田国際空港から空路ダッカに向かう
2月19日（月）ダッカ到着後、準備会議
2月20日（火）プロジェクト地に移動、開会式、プログラムを実施する
|
2月26日（月）閉会式を行い、プロジェクト実施地よりダッカに移動
2月27日（火）ダッカにて評価反省および打合せ会を行う
2月28日（水）ダッカより羽田国際空港へ向かう
3月 1日（木）到着後、ボーイスカウト会館へ移動（宿泊）事後集会・解団式の後、解散

※派遣員内定後2回の事前集会と、派遣後の複数回の事後集会が想定される。

応募資格：応募者は、次の各項を満たしていること

<ローバースカウト>

- （1）平成29年度にローバースカウト登録をしている者、または同年代で指導者登録をしている者
- （2）スカウト運動に積極的に参加しており、帰国後も積極的に参加する者
- （3）日常会話程度以上の英語力、もしくはベンガル語会話力があり、国際協力に関心がある者
- （4）心身ともに健康で、海外派遣に耐える体力があり、日本のローバースカウトを代表する派遣団員として行動のとれる者

<指導者>

- （1）派遣実施日において、満25歳以上の指導者
- （2）平成27年度から継続して登録があり、応募時点で隊指導者基礎訓練課程修者（ローバー隊の指導者歴をもつ者が望ましい）
- （3）心身ともに健康で、長期の海外派遣に耐える体力があり、かつ日常会話程度以上の英語力、もしくはベンガル語会話力がある者

- (4) 派遣指導者としての役務を果たし、またローバースカウトを支援するに適した経験と資質を有し、さらに国際協力に関心のある者

参加申し込み

- (1) 上記の資格を有する参加希望者は必要書類を整え、所属団・地区の推薦（ローバースカウトは所属隊の推薦も必要）をうけ、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込む。
- (2) 県連盟は、申込者を選考し、適格者を日本連盟に推薦する。
2人以上を推薦するときは、県連盟推薦順位をつける。
- (3) 県連盟から日本連盟への申し込みは、次の必要書類を添え平成29年10月10日（火）までに行う。

提出書類

- (1) 海外派遣参加申込書(スカウト・指導者別の所定の用紙) 1通
- (2) 海外派遣参加健康調査書(所定の用紙) 1通
- (3) 県連盟面接結果通知書 1通

日本連盟の選考

日本連盟は派遣員の選考を行う。

申込期日及びその他の期日(予定)

県連盟への申し込み	平成29年 月 日 () 県連盟の定める日
日本連盟への推薦	平成29年10月10日(火)
派遣員の選考	平成29年10月28日(土) (予定)
派遣員の内定	<u>選考会場は東京都内とし、会場までの往復交通費は自己負担となる。</u> 平成29年11月上旬

派遣事前準備と帰国後の評価・改善活動

派遣員として内定後、派遣団クルーが実施する事前集会（訓練と準備）、出発直前準備訓練に全期間参加しようと努力することで、直前準備訓練終了後の結団式において、日本連盟より派遣員として任命される。また、帰国後「派遣報告書」を作成し、派遣の総括・評価を行うとともに、今後の派遣事業に対する改善材料を提供する活動に積極的に参画することで、自己のローバーリングにおけるP（計画）、D（実施）、C（評価）、A（改善）のプログラム・プロセスを完成させる。

その他

- ① 派遣の延期または中止
以下の様な場合には、当該派遣が延期または中止されることがあります。
- 外務省による、渡航先国または地域への渡航延期勧告または危険情報の発出等
 - 同、SARS・鳥インフルエンザ等の感染症情報の発出等
 - その他、派遣実施に支障があると判断された場合
- ② 派遣参加における個人情報と写真・映像の取り扱い
参加申込みにあたりご提供いただいた個人情報は、派遣員選考と、派遣員内定後の相互連絡や名簿の作成、および派遣に関する情報の提供を目的として使用します。個人情報のついては、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱い、派遣終了後には速やかに破棄します。また、派遣の記録用として撮影した画像、映像はすべて公益財団法人ボーイスカウト日本連盟に帰属することとします。参加者の写真や映像は、日本連盟ニュース、派遣団報告書、ホームページ等の派遣の記録に使用するほか、スカウティング誌、各種パンフレット等のボーイスカウト運動普及・振興のために使用することがあります。なお、使用に際しては、できる限り個人の特定ができないよう配慮をします。

以上

